

いきいきホスピタルにゅーす

2017.11

「つくば、働く人」@筑波大学附属病院が進行中！



手術部・高橋伸二先生の職場である手術室を見学する学生たち

附属病院では、筑波大学芸術専門学群の授業で学生が撮影した写真作品「つくば、働く人」を 12 階展望ラウンジを中心に展示しています。今までは、つくばに住む様々な職種の方が被写体だったのですが、今年度はなんと附属病院の職員が被写体に！医師や薬剤師、事務職員・・・各職員の「夢」をテーマにした写真作品が出来上がります。現在、作品イメージを固めるため、学生が職員の職場を見学し、インタビューの真っ最中。今後撮影を行い、展示は年度末を予定しています。

三つ編みを編む編む編む・・・



公募で外来棟廊下に展示する学生アーティストを決める『アーティスト・イン・ホスピタル 2017』。

審査を経て選出された諏訪春佳さんは、現在展示に向け準備を進めています。11 月には入院病棟にて、薄く淡い色が特徴の布“オーガンジー”を使って、患者さんとともに三つ編みを編み、作品づくりを行います。また 12 月にはエントランスホールでワークショップも予定。ワークショップでみなさんの編んだ三つ編みが外来棟廊下の壁一面に広がります。どんな作品になるのかお楽しみに。

pick up!!

「大学病院入口」バス停前にある病院ガーデンは、今年度から筑波大学園芸サークルのメンバーがメンテナンスを行っています。先日花の植え替えを実施し、秋の装いに。花壇には芸術の学生が制作した作品も一緒に展示されています。こちらも展示替えを行う予定です。

